

会津・富津関連年表

元号	西暦	月	会津・富津に関するできごと	同時期のできごと
天正 16 年	1588	5 月	保科正貞（幼名甚四郎）、保科正直の三男として生まれる 母は徳川家康の異父妹（久松俊勝の娘）多劫姫（長元院）	1592 豊臣秀吉、朝鮮出兵（文禄の役）
文禄 3 年	1594		保科正貞、徳川家康の命により異母兄保科正光の養子となる	1603 徳川家康が征夷大将軍となり江戸幕府を開く
慶長 16 年	1611	5 月	保科正之（幼名幸松）、2代将軍秀忠の四男（庶子）として生まれる 母は北条氏旧臣・神尾栄嘉の娘、もしくは武蔵国板橋の大工の娘・静といわれる	1612 幕府、キリスト教を禁止
"	"		幸松は武田信玄の次女見性院（穴山信君正室）に預けられ養育される	
元和 3 年	1617		幸松、信濃高遠藩主・保科正光の養子となる	1615 大坂夏の陣で大坂城が落城し豊臣氏滅亡
"	"		保科正貞、正光養子を廃嫡となり、諸国を放浪、母方の叔父である伊勢桑名藩主・松平定勝に仕える	1617 日光東照宮完成
寛永 6 年	1629		保科正貞、幕臣となり 3 千石を与えられる	
寛永 8 年	1631		保科正之、正光の跡を継いで高遠藩 3 万石の藩主となり、正四位下肥後守兼左近衛中将に叙任	1635 長崎以外の外国船来航の制限、日本人の海外渡航禁止（鎖国）
寛永 13 年	1636		保科正之、出羽山形藩 20 万石を拝領	1637 島原の乱
寛永 20 年	1643		保科正之、陸奥会津藩 23 万石の大名となる	
慶安元年	1648	6 月	保科正貞、摂津国 1 万石を加増されて 1 万 7 千石の大名となり、飯野藩を立藩	1651 由比正雪の乱
寛文元年	1661	11 月	保科正貞、江戸で死去し、長男正景が跡を継ぐ	1657 明暦の大火
寛文 9 年	1669		保科正之、嫡男正経に家督を譲り隠居	
寛文 12 年	1672	12 月	保科正之、江戸三田の藩邸で死去（享年満 61 歳）	1685 将軍綱吉、生類憐みの令を出す
元禄 9 年	1696		会津藩 3 代藩主・保科正容（保科正之六男）、松平姓と三つ葉葵紋の永代使用を許される、歴代藩主の通字も正から容となる	1702 赤穂浪士大石良雄ら、吉良義央を討つ
文化 3 年	1806	4 月	松平容敬（幼名慶三郎）、美濃高須藩から会津藩 7 代藩主・松平容衆の養子となる	1800 伊能忠敬が蝦夷地（北海道）を測量
文化 7 年	1810		白河藩・松平定信、房総の海岸防備を命じられる	1809 間宮林蔵、樺太探検から帰還
文化 8 年	1811	5 月	松平定信、竹ヶ岡砲台・陣屋を設置	
文化 9 年	1812	5 月	百首村、竹ヶ岡村と改称	1814 滝沢馬琴、『南総里見八犬伝』出版
文化 14 年	1817	3 月	保科正丕、父正徳の隠居により飯野藩 9 代藩主を継ぐ	
文政 5 年	1822		房州の洲崎台場が富津に移される、この頃富津駅場できる	1821 伊能忠敬の日本測量図完成
"	"		館山の波佐間から陣屋が移設され新たな富津陣屋ができる	
"	"		松平容敬、会津藩 8 代藩主を継ぐ	1823 近江屋甚兵衛、人見村で海苔養殖を創始
文政 6 年	1823		白河藩が桑名へ転封、代官森覚蔵が房総台場支配を命じられる	1825 異国船打払令
天保 3 年	1832	12 月	照姫、飯野藩主・保科正丕の三女として生まれる。母は側室の佐々木民（静広院）	1828 シーボルト事件
天保 10 年	1839		鳥居耀蔵・江川太郎左衛門英龍、伊豆・相模・房総の海岸を巡視	1839 蛮社の獄
天保 11 年	1840		代官羽倉外記、房総台場支配を命じられる	1840 清でアヘン戦争起こる
天保 13 年	1842	12 月	忍藩・松平忠国、房総海岸防備を命じられる	1841 水野忠邦、天保改革令出す
"	"		佐貫藩・阿部正身、大坪山砲台と番小屋を設置	
天保 14 年	1843		照姫、会津藩主・松平容敬の養女となる（※以降「松平照」と表記）	1843 印旛沼開墾開始
弘化 2 年	1845	3 月	飯野藩主・保科正丕、領内の青木村へ青木浦見張番所を設ける	1844 オランダが開国を勧める国書届ける
弘化 3 年	1846		松平容保（幼名銚之丞）、美濃高須藩から会津藩 8 代藩主・松平容敬（実の叔父）の養子となる	

弘化4年	1847	8月	会津藩主・松平容敬、忍藩に代わって富津・竹ヶ岡台場の警備を命じられ、忍藩は安房の洲崎・大房岬などの台場、白子番所等の警備に就く	
嘉永元年	1848	8月	会津藩士による富津陣屋沖から竹岡白狐川河口までの遠泳訓練が行われる	
〃	〃		保科正益、父正丕の死去により飯野藩10代藩主を継ぐ	
嘉永3年	1850		会津藩、小久保に七曲砲台（大砲6門）を設置	1850 高野長英自殺
〃	〃		松平照、豊前中津藩主・奥平昌服に嫁ぐ	1850 清で太平天国の乱起こる
嘉永5年	1852		松平容保、会津藩9代藩主を継ぐ	
嘉永6年	1853	6月	アメリカ東インド艦隊司令長官ペリー軍艦4隻を率いて浦賀に来航	1853 トルコ・ロシア間でクリミア戦争起こる
〃	〃	8月	江川太郎左衛門英龍設計により品川第一、第二、第三台場起工	
〃	〃	11月	柳河藩・立花鑑寛、富津台場警備を命じられる	
〃	〃	11月	岡山藩・池田慶政、竹ヶ岡台場警備を命じられる	
安政元年	1854	3月	幕府、日米和親条約を結び、下田・箱館の2港を開く	
〃	〃	4月	品川第一、第二、第三台場竣工	
〃	〃	12月	品川第五、第六台場竣工	1856 安政の大地震
〃	〃		松平照、奥平昌服より離縁となり江戸の会津藩邸に戻る	1856 吉田松陰、松下村塾開設
安政5年	1858	6月	竹ヶ岡陣屋・台場廃止	1858 ムガル帝国滅亡、イギリス領インドとなる
〃	〃	6月	二本松藩・丹羽長富、富津台場警備を命じられる	1859 安政の大獄
〃	〃	6月	日米修好通商条約に調印	1860 桜田門外で大老井伊直弼暗殺
文久2年	1862	閏8月	会津藩主・松平容保、京都守護職に就任、会津藩兵を率いて上洛	1861 アメリカ南北戦争開戦
元治元年	1864	8月	幕府、長州征伐を命令	1862 アメリカ南北戦争終結
慶応2年	1866	1月	倒幕のための薩長同盟の密約が成立	
慶応3年	1867	3月	前橋藩・松平直克、富津台場警備を命じられる	1867 大政奉還
慶応4年	1868	1月	鳥羽・伏見の戦いから戊辰戦争始まる	
〃	〃	2月	松平照、会津藩の江戸城総引揚げで若松城（鶴ヶ城）に入る	
〃	〃	4月	保科正益、松平容保に連座して京都北野で謹慎処分となる	
〃	〃	6月	保科正益、幕府側に与した家臣を処刑したため罪を許される	
〃	〃	8～9月	松平照、会津戦争の若松城籠城戦で城内の婦女子の総指揮にあたる	1868 江戸城無血開城
明治元年	〃	9月	松平照、会津戦争降伏開城後、坂下の妙国寺に移され謹慎の身となる	
明治2年	1869	3月	松平照、東京の紀州藩邸（松平茂承）に預けられる	
〃	〃	5月	会津藩家老・萱野権兵衛長修が戦争責任を取って斬首のところ、飯野藩保科家の配慮により切腹の形式が取られる	
〃	〃	5月	五稜郭の戦いで旧幕府軍降伏し、戊辰戦争終結	
〃	〃	6月	保科正益、版籍奉還により飯野藩知事に任じられる	
〃	〃	12月	松平照、実家の飯野藩へ預け替えとなり飯野藩邸に移る	1869 東京―横浜間に電信開通
明治4年	1871	7月	廃藩置県で飯野藩が飯野県となる（同年11月、木更津県に統合）	1872 新橋―横浜間に鉄道開通
明治13年	1880		松平容保、日光東照宮の宮司となる	1875 ロシアとの間に千島・樺太交換条約締結
明治14年	1881	8月	第一海堡起工（明治23年12月竣工）	1878 大久保利通暗殺
明治15年	1882	1月	元洲堡壘砲台起工（明治17年6月竣工）	1883 鹿鳴館開館
明治17年	1884	2月	松平照、東京にて死去（享年満51歳）	1885 伊藤博文内閣成立
明治21年	1888	1月	保科正益死去（享年満54歳）	1889 大日本帝国憲法発布
明治22年	1889	7月	第二海堡起工（大正3年6月竣工）	1889 東海道本線全通
明治25年	1892	8月	第三海堡起工（大正10年3月竣工）	1891 田中正造、足尾鉬毒質問書を衆議院に提出
明治26年	1893	12月	松平容保、東京目黒の自宅にて肺炎のため死去（享年満56歳）	1892 軍艦千島、イギリス船と衝突して沈没